

愛称：**月桂樹**

高金利先進国債券オープン(毎月分配型)



月桂樹の魅力：**投資国の厳選**と**機動的な調整**

「高金利先進国債券オープン(毎月分配型)」(以下、「月桂樹」)は、2003年の設定来多くの投資家の皆様にご愛顧いただき、2015年8月5日に12周年を迎えました。

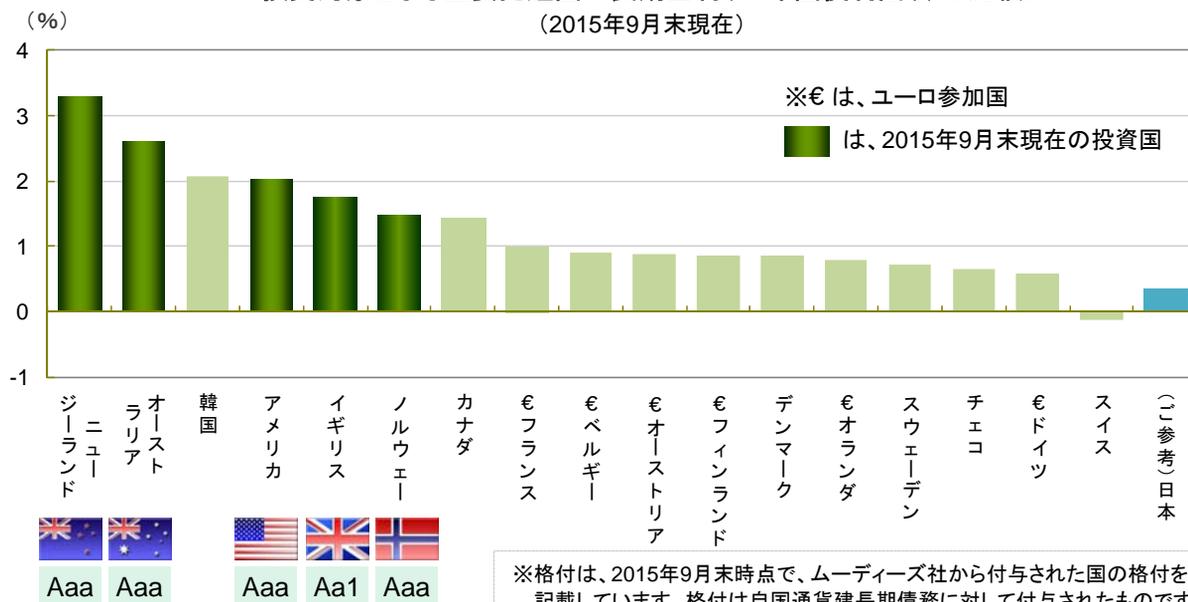
当ファンドは、投資国を厳選し、さらに市場環境に応じて投資比率を機動的に調整することで、これまで市場の様々な局面を乗り越え、良好なパフォーマンスをあげてきました。本資料では、このように堅実な運用を貫く、月桂樹の運用の魅力についてご紹介します。

【投資国の厳選】

“信用力”と“金利水準”に着目して投資国を厳選

- 当ファンドは格付が高く、相対的に高金利の先進国のソブリン債を中心に分散投資を行ないます。

＜投資対象となる主要先進国の長期金利(10年国債利回り)の比較＞
(2015年9月末現在)



※ 上記は、OECD加盟国のうち2015年9月末時点で、スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)社またはムーディーズ社からAA格またはAa格相当以上の格付を付与された国の10年国債利回りを記載しています。ただし、継続して取得できるデータがない国については記載していません。
※ 信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

【機動的な調整】～投資国の入替え～

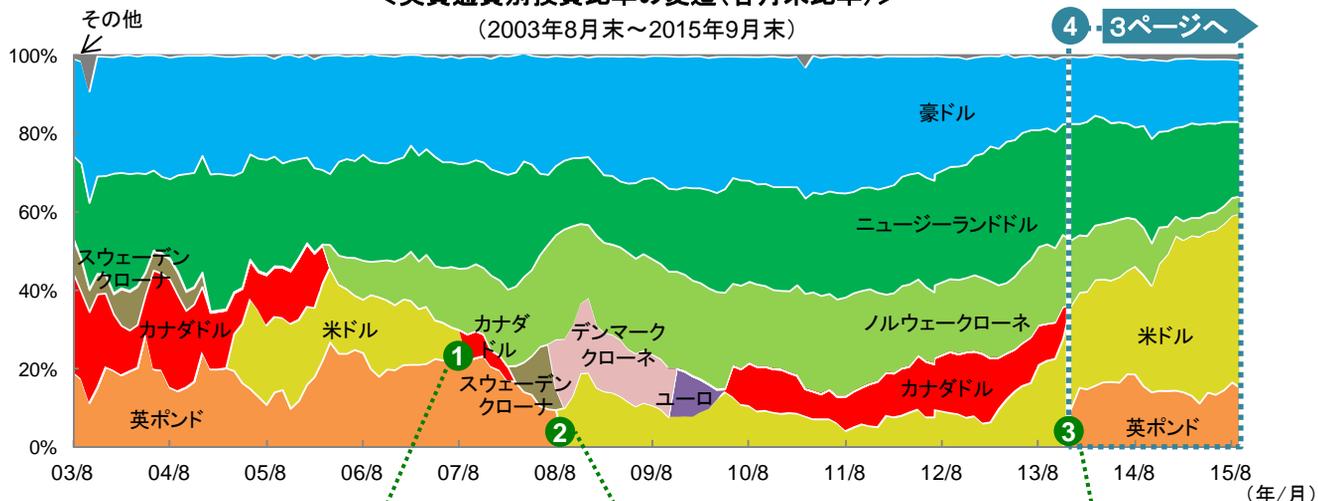
投資国の入替えにより、安定した収益の確保をめざす



■ 当ファンドは安定的な収益を確保するため、適宜投資国を見直し、より投資魅力が高いと考えられる国に入替えを行ないます。これまでも機動的に投資国の入替えを行なうことで、市場の様々な局面を乗り越えてきました。

＜実質通貨別投資比率の変遷(各月末比率)＞

(2003年8月末～2015年9月末)



4 3ページへ

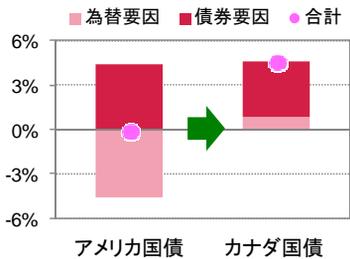
1



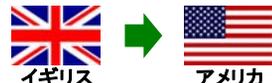
アメリカ → カナダ
(2007年9月入替開始)

アメリカ経済の減速懸念や、それに伴う金利水準の方向感などから入替えを判断

【ご参考】
入替後の債券パフォーマンス(3ヵ月)
(2007年8月末～2007年11月末)



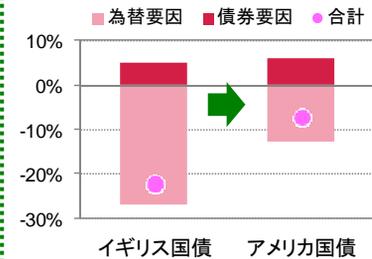
2



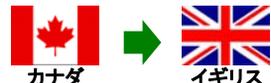
イギリス → アメリカ
(2008年9月入替開始)

イギリス経済の減速懸念などから、金利水準以外の要素も重視して入替えを判断

【ご参考】
入替後の債券パフォーマンス(3ヵ月)
(2008年8月末～2008年11月末)



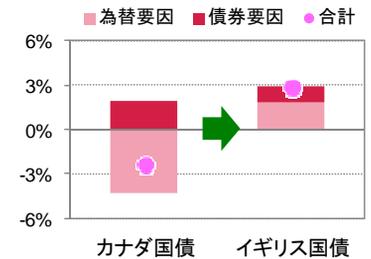
3



カナダ → イギリス
(2013年12月入替開始)

イギリス経済が好調であったことに加え、イギリスの金利水準がカナダを上回ったことなどから入替えを判断

【ご参考】
入替後の債券パフォーマンス(3ヵ月)
(2013年11月末～2014年2月末)



投資国の入替例

※ 実質通貨別投資比率は、マザーファンドを考慮した実質の値であり、対純資産総額の比率です。その他には現金などが含まれます。
※ 債券パフォーマンス:シティ世界国債インデックスの各国別インデックスを使用。「債券要因」は現地通貨ベース指数の期間騰落率、「為替要因」は円ベース指数の期間騰落率から「債券要因」を差し引いて計算しています。なお、当該指数は当ファンドのベンチマークではありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「高金利先進国債券オープン(毎月分配型)／愛称:月桂樹」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

【機動的な調整】～投資比率の調整～

投資比率の調整により、常に最良の状態をめざす

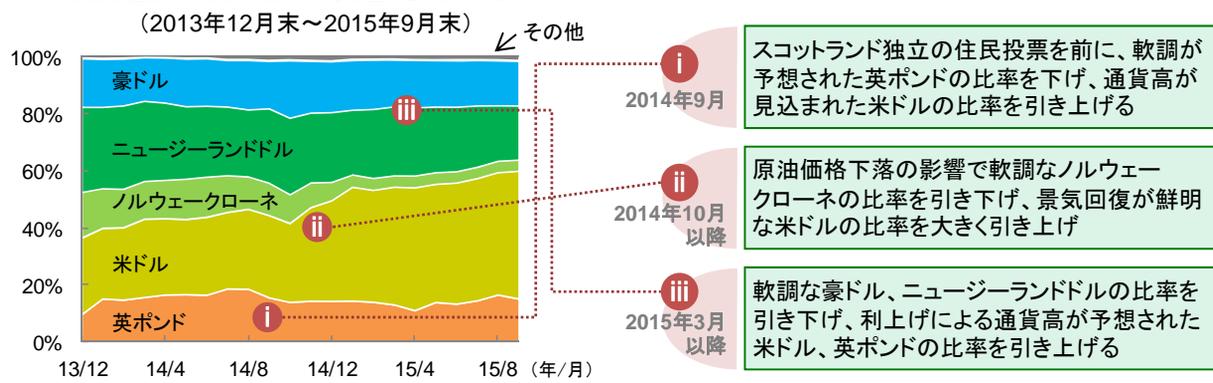


■ 当ファンドは各国の経済見通しの変化に応じ、投資比率を機動的に調整することで、常に最良と考えられるポートフォリオの構築をめざします。足元においても、こうした柔軟な対応がパフォーマンスの向上に寄与したと考えられます。

4

＜実質通貨別投資比率の変遷(各月末比率)＞

(2013年12月末～2015年9月末)

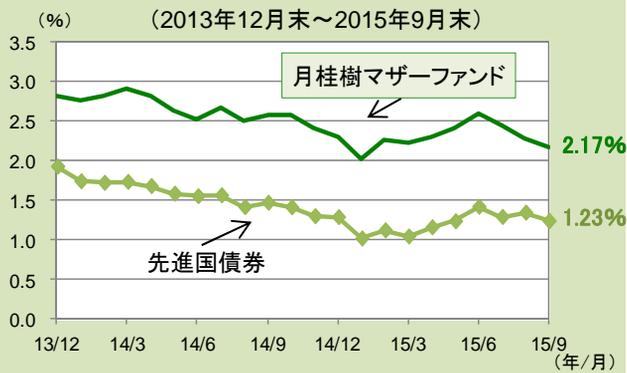


※ 実質通貨別投資比率は、マザーファンドを考慮した実質の値であり、対純資産総額の比率です。その他には現金などが含まれます。

投資国の厳選と入替えにより、相対的に高い利回りを獲得

＜利回り推移の比較＞

(2013年12月末～2015年9月末)



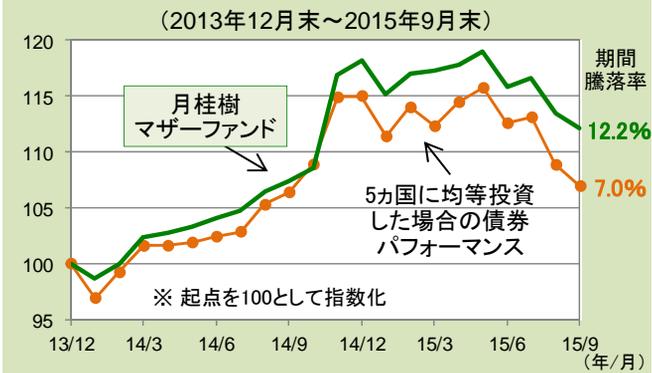
※ 月桂樹マザーファンド: 高金利先進国債券マザーファンドの平均最終利回り(各時点で組み入れている債券を満期まで保有した場合の利回り)

※ 先進国債券: シティ世界国債インデックス(除く日本)の最終利回り

市場環境に応じた投資比率の調整により、パフォーマンスは相対的に優位に推移

＜債券パフォーマンスの推移＞

(2013年12月末～2015年9月末)



※ 月桂樹マザーファンド: 高金利先進国債券マザーファンドの月次騰落率を指数化したものであり、当ファンドのパフォーマンスではありません。なお、当マザーファンドには信託報酬はかかりません。

※ 5カ国に均等投資: シティ世界国債インデックス(円ベース)の、オーストラリア、ニュージーランド、ノルウェー、アメリカ、イギリスの各国別インデックスに均等に投資し、毎月末にリバランスを行なったと仮定して計算しています。なお、上記の各指数は当ファンドのベンチマークではありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「高金利先進国債券オープン(毎月分配型)／愛称: 月桂樹」へのご理解を高めたいと目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

<ご参考> 先進国債券の市場環境について



先進国の長期金利は低水準で推移

- 足元において、主要先進国の債券利回りは低下（債券価格は上昇）傾向にあります。世界的な景気鈍化懸念や、中国経済の減速などを受けて、投資家のリスク回避姿勢が継続していることなどが背景として挙げられます。一般に先進国債券は、市場心理が悪化すると買われる傾向にあるため、不安定な市場環境は先進国債券にとって追い風になると考えられます。

<主要先進国の長期金利（10年国債利回り）の推移>



※ 信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

金融緩和策の継続などが、先進国債券市場を下支え

- アメリカの利上げについて、市場では年内の開始が予想されているものの、利上げのペースに関しては慎重な姿勢が維持されると考えられ、大規模な市場の混乱は回避されるものとみられます。
- 加えて、多くの先進国で金融緩和策の継続が見込まれることなどから、今後も主要先進国の債券利回りは低水準に推移すると期待されます。そのため、債券価格の下落は限定的なものになると考えられます。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「高金利先進国債券オープン（毎月分配型）／愛称：月桂樹」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

<ご参考> 先進国通貨の市場環境について

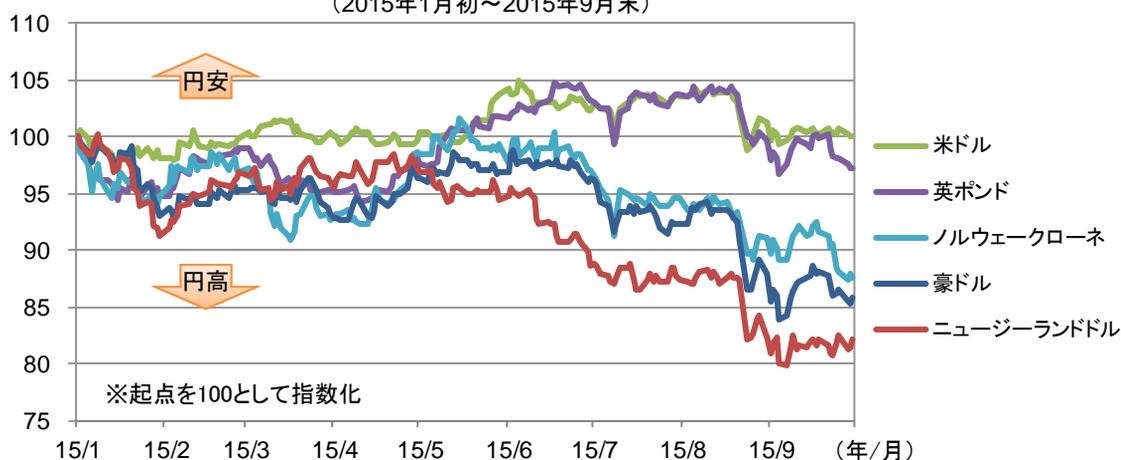


2015年の為替市場は変動性の高い相場展開

- 景気の回復が続くアメリカやイギリスでは、年初来、通貨は堅調に推移(円安)したものの、その他の投資国では、2014年後半から続く資源価格の下落や予想外の利下げ、中国の景気減速などを受けて軟調な動き(円高)となりました。
- 8月中旬には、中国の景気減速が鮮明さを増すなか、市場心理の悪化から円が買われ、投資国通貨は大きく調整しました。9月に入ると、米国の利上げ開始時期に対する不透明感や各国の経済状況、金融政策の違いなどから、まちまちの動きとなりました。

<投資国の為替(対円)の推移>

(2015年1月初～2015年9月末)



※ 信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

米英の利上げは米ドル・英ポンド上昇の追い風に

- 実際にアメリカやイギリスで利上げが開始されれば、日本との金利差拡大から、対円で米ドル・英ポンド高の進行が見込まれます。そうした場合、その他の投資国通貨は短期的に対米ドルでの下落が予想されますが、一方で日本では量的金融緩和が継続されていることから、対円での下値リスクは限定的であると予想されます。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料で使用した指数について

シティ世界国債インデックス(除く日本)は、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した、日本を除く世界の主要国の国債市場の合成パフォーマンスを表す指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、シティグループ・グローバル・マーケット・インクに帰属します。また、シティグループ・グローバル・マーケット・インクは同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

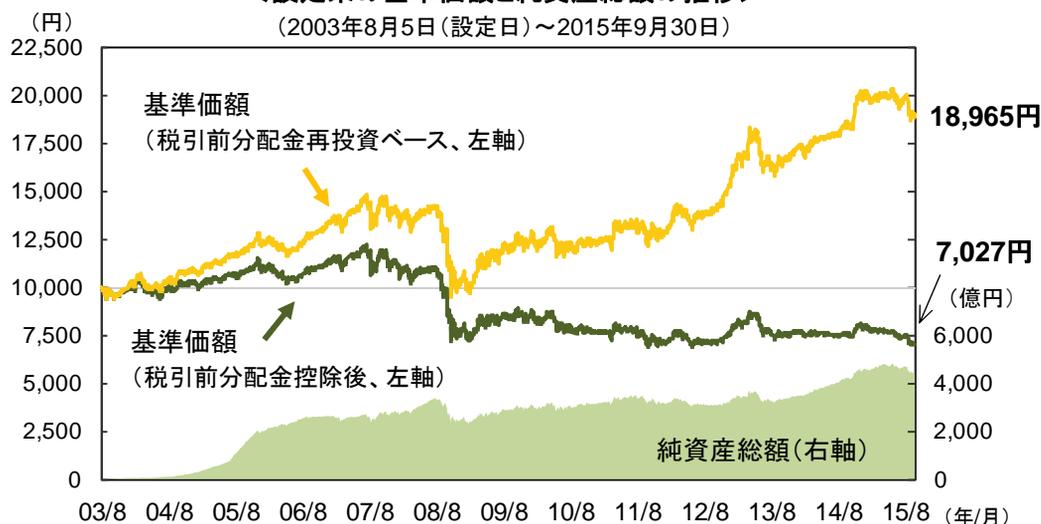
当資料は、投資者の皆様へ「高金利先進国債券オープン(毎月分配型)／愛称:月桂樹」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

設定来の運用実績



<設定来の基準価額と純資産総額の推移>

(2003年8月5日(設定日)～2015年9月30日)



(2015年9月30日現在)

設定来騰落率
(税引前分配金再投資ベース)
+ 89.7%

純資産総額
4,419億円

2015年9月の分配金額

55円
(1万口当たり、税引前)

設定来合計
8,470円

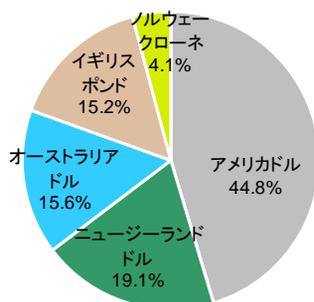
<設定来の分配金実績(1万口当たり、税引前)>

2003年11月～ 2004年1月	2004年2月～ 2007年1月	2007年2月～ 2007年6月	2007年7月～ 2010年6月	2010年7月～ 2015年3月	2015年4月～ 2015年9月
40円/月	45円/月	50円/月	60円/月	70円/月	55円/月

- ※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。
- ※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものであることにご留意ください。
- ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

<実質通貨別投資比率>

(2015年9月末現在)



- ※ 実質通貨別投資比率は、月桂樹における外貨建資産の実質投資比率であり、対純資産総額の比率です。
- ※ 比率はその他があるため100%とならないことがあります。

<利回りなど>

(2015年9月末現在)

平均クーポン	3.14%
平均直接利回り	2.82%
平均最終利回り	2.17%
平均デュレーション	6.3年
平均残存期間	7.3年

- ※ 「利回りなど」は月桂樹のマザーファンドの状況であり、個別債券について加重平均したものです。
- ※ 平均直接利回りは、債券の時価価格に対する1年間に受け取る利息の割合を表したものです。
- ※ 平均最終利回りは、債券を満期まで保有した場合の利回りです。
- ※ 「利回りなど」で表示されている各利回りは、将来得られる期待利回りを示すものではありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「高金利先進国債券オープン(毎月分配型)／愛称:月桂樹」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

販売用資料

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

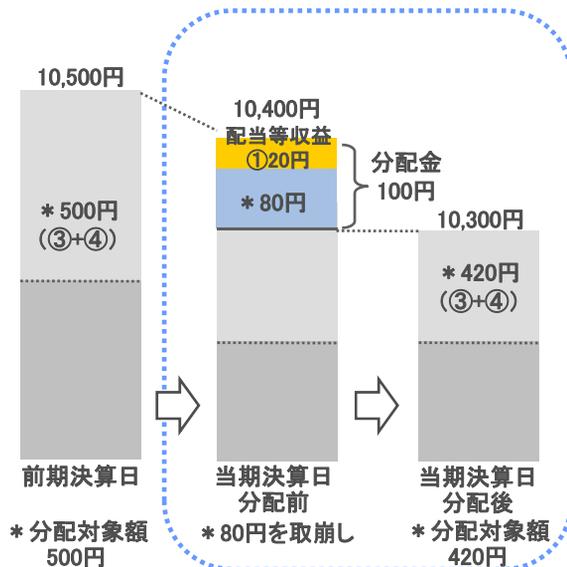
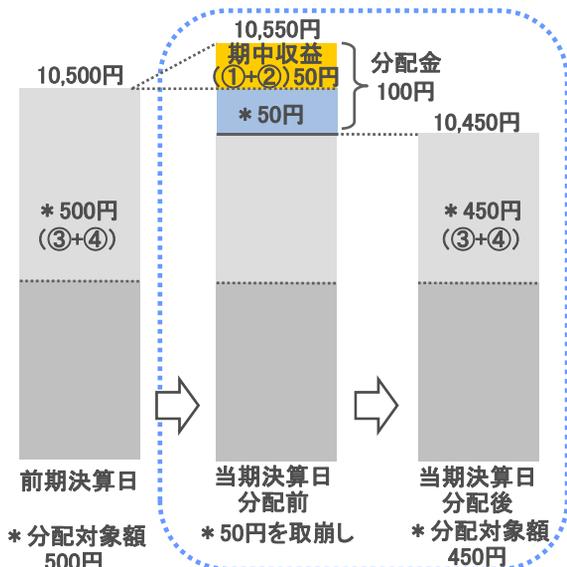


- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合

前期決算から基準価額が下落した場合

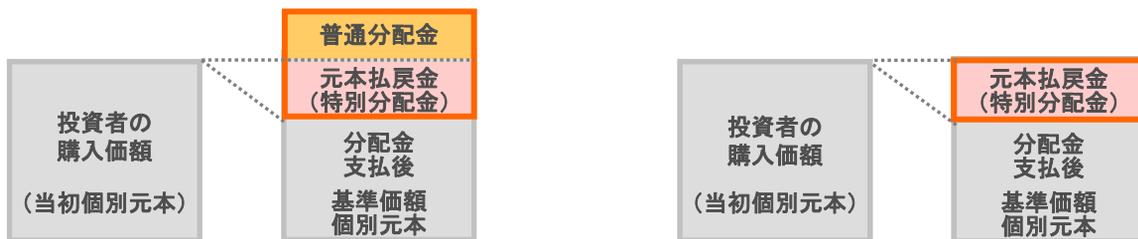


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
 ※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
 元本払戻金 : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、(特別分配金) 元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

■お申込みに際しての留意事項

リスク情報

投資者の皆様のご投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

価格変動 リスク	公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。
流動性 リスク	市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト(債務不履行)が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。
為替変動 リスク	外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

■お申込メモ

商品分類	追加型投信／海外／債券
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	<p>購入申込日が下記のいずれかに当たる場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英国証券取引所の休業日 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・シドニー先物取引所の休業日 ・ロンドンの銀行休業日 ・ニューヨークの銀行休業日
信託期間	無期限(2003年8月5日設定)
決算日	毎月10日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	<p>毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。</p> <p>※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>
ご換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額
ご換金不可日	<p>換金請求日が下記のいずれかに当たる場合は、換金の請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英国証券取引所の休業日 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・シドニー先物取引所の休業日 ・ロンドンの銀行休業日 ・ニューヨークの銀行休業日
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
課税関係	<p>原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。</p> <p>※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。</p> <p>※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。</p> <p>※配当控除の適用はありません。</p> <p>※益金不算入制度は適用されません。</p>

■手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	<p>購入時手数料率は、2.16%(税抜2%)を上限として販売会社が定める率とします。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。</p> <p>《ご参考》 (金額指定で購入する場合) 購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額(お支払いいただく金額)となるよう購入口数を計算します。 例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料(税込)をいただきますので、100万円全額が当ファンドの購入金額とはなりません。</p> <p>(口数指定で購入する場合) 例えば、基準価額10,000円のときに、購入時手数料率2.16%(税込)で、100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。 購入金額=(10,000円/1万口)×100万口=100万円、 購入時手数料=購入金額(100万円)×2.16%(税込)=21,600円となり、 購入金額に購入時手数料を加えた合計額102万1,600円をお支払いいただくこととなります。</p>
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬	純資産総額に対して年率1.35%(税抜1.25%)を乗じて得た額
その他費用	<p>組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など ※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。</p>

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

委託会社	<p>日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会</p>
投資顧問会社	日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッド
受託会社	野村信託銀行株式会社
販売会社	<p>販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]http://www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)</p>

当資料は、投資者の皆様へ「高金利先進国債券オープン(毎月分配型)／愛称:月桂樹」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○		○	
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第2号	○			
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第1号	○			
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
株式会社関西西アーバン銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第16号	○		○	
株式会社北日本銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第14号	○			
株式会社紀陽銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第8号	○			
株式会社京葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第56号	○			
株式会社西京銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第7号	○			
株式会社佐賀共栄銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第10号	○			
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第11号	○		○	
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第10号	○			
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
湘南信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第192号	○			
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第578号	○		○	
株式会社第四銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号	○		○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
株式会社但馬銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第14号	○			
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○		○	
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第40号	○		○	
株式会社中国銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第2号	○		○	
株式会社筑波銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第44号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
株式会社東和銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第60号	○			
株式会社栃木銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第57号	○			
株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第1号	○			
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○		○	
株式会社長野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第63号	○			
株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第15号	○			
日産センチュリー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○	
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第10号	○		○	
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○			
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第5号	○		○	
広島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第44号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○			
株式会社福井銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第2号	○		○	
株式会社北洋銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第3号	○			
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第3号	○		○	
株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第1号	○		○	
株式会社北國銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第5号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第94号	○	○	○	○
株式会社みちのく銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第11号	○			
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○		
株式会社山梨中央銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第41号	○			
株式会社ゆうちょ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第611号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○		○	○

(50音順、当資料作成日現在)

当資料は、投資者の皆様へ「高金利先進国債券オープン(毎月分配型)／愛称:月桂樹」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

nikko am

www.nikkoam.com

高金利先進国債券オープン
(毎月分配型)



モーニングスターアワード
「ファンド オブ ザ イヤー2014」

債券型 部門 最優秀ファンド賞

最優秀
ファンド賞を
W 受賞

高金利先進国債券オープン
(毎月分配型／資産成長型)



「R&I ファンド大賞」

(2014)(2015)部門名: 投資信託/
オーストラリア・ニュージーランド債券部門
賞名: 最優秀ファンド賞

Morningstar Award “Fund of the Year 2014”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的財産権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2014年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。債券型 部門は、2014年12月末において当該部門に属するファンド892本の中から選考されました。

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

当資料は、投資者の皆様へ「高金利先進国債券オープン(毎月分配型)／愛称: 月桂樹」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。